



你吃饱了???

(もう飯食ったか? = 元気? 調子はどう?)

に~ばおら~ま???

台湾高雄日本人学校 佐藤淳一

台湾高雄に来て4か月がたちました。大家好!(だーじゃはお!: 皆さんご機嫌うるわしゅう!)佐藤でございます。4か月もの間、音信不通であった理由を夏休みに入ってからいろいろ考えてはいたのですが、「忙しさにかまけてサボっていた」のです。もう正直に開き直るしか…。今後は心を入れ替え、定期的に生存報告をお送りしたいと固く心に誓っている今日この頃です。大変申し訳ございません。

さて、気を取り直してまいりましょう。夏休みの優先課題であるこのレポートですが、題名をつけた方が良いものかどうか? つけるとしたら何にするべきか? 頭を悩ませること4か月。せめて今後報告を継続する上で「自分の首を絞めない程度のものに」と考えて…。決定!

「に~つばおら~ま??」とは「あんたご飯たべた? 腹はふくれてるか?」といった日常の挨拶です。日本でいう「いいお天気ですね!」と同等の言葉だそうです。食べることには目がない台湾人らしい挨拶ですが、食料がない時代に定着したものだとお聞きしました。『相手にご飯を食べた=幸せに生活している』という発想ですね。最初はこの言葉をかけられて「自分をやたら食事に誘ってくれているのではないか?」とニヤニヤしていたのですが…残念ながらモテモテではなかったということです…。

相手を気遣う心遣いが素敵な、お気に入りの中国語です。

それでは台湾での生活の様子と学校の様子を、南国らしく程よくゆる~く&お写真多めでお伝えしていきたいと思います。



~インターネット Wikitravel より~

台湾は島の面積が 35,915 平方 km。日本の九州より少し小さい島です。北海道の半分くらいの大きさですね。北海道の人口は 540 万人程度ですが、台湾にはなんと 2300 万もの人々が暮らしています。つまり、北海道の1/2の土地に 4 倍の人たちが住んでいるという計算になります…。

人口密度もバングラディッシュに次ぎ 643 人/km² 世界で 2 位! 約 66 人/km² の北海道と比べると約 10 倍の人口密度です!

私の住んでいる高雄市は台湾の南に位置する台湾第 2 の都市です。(実は最近第 3 という噂も…?) 亜熱帯気候の台北に比べて冬の時期の雨が少ない『熱帯モンスーン気候』で、ヤシの木やバナナの木をどこでも見ることができるなど南国ムードが漂う港町。観光客も多く新鮮な魚介類や屋台が立ち並ぶ夜市で有名です。この夜市はいいですね。縁日でワクワクするような感覚を思い出します。そうそう、市場も素敵ですよ! 生きている食材や死んでしまったばかり? の食材がうようよしていてテンションが上がります。見たことのないエビ、カニ、スッポン、蛙にブタの顔、鶏の裸になったもの etc…。台湾の方はあまりご家庭で料理を作る習慣がないようで多くの方の夕食はほぼ外食だとか。(外で食べた方が安上がりなことも多いようです) 食べ物は安くて…最高にウマイです! (詳しくは…次号以降でご紹介しましょう。)



↑ 寿山から望む高雄市

高雄は本当に青空がきれいですよ。来台当初の 4 月はどんよりとした曇天が多く、正直に言うと「pm2.5 の影響があるのでは…?」という先入観を持っていました…。青空さん、ゴメンナサイ。(空気は決

して良いとは言えません…)北部に比べて雨は少ない高雄ですが、突如として襲ってくるスコールには「バケツをひっくり返したような…」という表現がしっくりきます。台風も多いということです。7月に一度学校が閉鎖になりました。『停课：ていんか〜』という文字がテレビに映ると、すべての学校がお休みになるというシステムで、お休みの連絡網はまわしません。生徒たちは年に何度かあるこれを心待ちにしているとのこと。

日本統治という時代背景をもち、85歳以上の方は多くが日本語教育を受けている台湾。人々はとても親日的で親切です。買い物に行って日本語が通じることも珍しいことではないですし、町の看板などでも日本語の表記をよく目にします。時々びっくりするような日本語に出くわします。まあこれもまた今後小出しにしていきましょう。

当たり前ですが、どこに行っても人がたくさん…。人々の移動手段は、主にスクーター。みなさんご存知台湾メカのビックスクーター KYMCO の中古 150CC を私も通勤手段として利用しています。スタイリッシュで精悍なビックボディに、ハイパワーエンジンを搭載し、あらゆるシーンにフィットするこのハイキューティリティパートナーは4月に片言の英語で値切りまくって 35,000NT\$ で購入。その後修理に出すこと数知れず。一度は大きな橋の真ん中でエンスト。泣きながら鼻水垂らして押しました〜。



↑街で見かけたカスタムバイク

さて、日本では点数が何点あっても足りないくらい交通ルールを守る意識がは緩いというか…。

最初は啞然としましたが、スクーター5人乗りのファミリー、信号無視をするタクシーにも慣れてくるから不思議なものです。先日は大きなラブラドルレトリバーが2匹、50ccのバイクの足元に乗っていました…。事故も多く、見学で訪れた医大にはロビーまでずらりと患者さんのベットがあふれかえって手や足に包帯ぐるぐる…。(その脇ではお弁当を食べているおばさんが…)さすがにお写真パチリというわけにはいかなかったのですが、患者さんの多くが交通事故だと…。私も気をつけます…。

勤務校の話題を少々…

高雄日本人学校は、小学部児童91名・中学部生徒26名の小規模校です。今年度私は中学部の1年生の担任を受け持っておりますが11名中、ご両親のどちらかが台湾人であるハーフの生徒が6名おります。中学部は現籍校である鹿追町立瓜幕中学校とほぼ同じ規模です。

小学部の児童の大きな歌声や笑い声がこだまするにぎやかな雰囲気は…新鮮!!とにかく明るく、何事にも積極的に取り組む児童・生徒が多いですね!

中学部生徒は日本と比べると部活動等の放課後の活動時間が少ないうえに、帰宅後に気軽に外出できるという環境ではないので、『学校で友人に会う』ことを楽しみに登校する生徒が多い印象を受けます。日本の中学生と比べると「親と過ごす時間」や「会話をする時間」は一概には言えませんが、こちらの方が多い気がします。

高雄日本人の入学式で気づいたこと…それは女子の制服が…AKBの衣装みたいで「萌え〜!」なことです。いわゆる制服というものはな





いのですが、『制服に準ずる格好』ということで男子はスーツorブレザー、女子は「萌え〜!」が決まりです。(←適当なことを書いていると怒られますね。) 指定ジャージもありません。普段は私服登校です。

これまで4か月過ごしたこの校舎には私も愛着を感じておりますが、残念なことに3階建の小学部校舎と中学部校舎は築40年。老朽化や間借りしている経費等の問題から来年度7月には1600人規模の現地小学校への校舎移転(校舎の一部を間借り)することが決まっています。引っ越しや、現地校との交渉、移転後の安全面にかかわる保護者の理解等、諸問題が山積しているのが現状です。

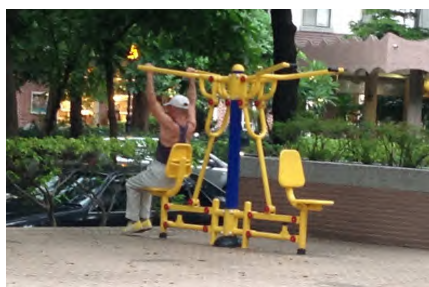
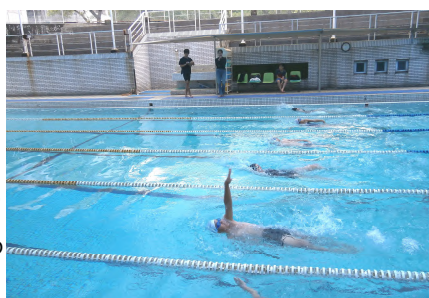
児童は多くがスクールバスを利用して登校します。(中学生は自力登校の生徒がほとんどです。) なかなかイケているド派手なピンクバスに乗ってエキサイティングな一日の学校生活が始まるのです。

職員は現地スタッフや講師の先生を含めて20名。毎朝7:30ごろに職員全員で生徒を迎えます。(帰りも写真同様にハイタッチで送り出します)今まで、小学部の先生の授業を拝見する機会が多くなかった私にとって、非常に有意義な時間を送っています(盗めるところ?が…たくさん)。出身都道府県も様々です。北〜南の方言+中国語が飛び交う職員室の中、毎日刺激を受けながら勤務をしています。

ショートトラックの運動場があるだけで体育館は無い環境ですので、「体力の向上・運動不足解消」は学校としても大きな課題です。(雨の日は入学式などを行う小ホールにて卓球などを行っています) 実際、体力テストでは日本の平均を大きく下回る結果が出ています。特にボール投げ等の上半身を使った運動が苦手なようです。

体育の授業は週に3回のうち2回が水泳です。とにかく河童のごとく泳げます。そういえば、春先の全校プール掃除の前にプールを覗いたのですが、なんと、カラフルなグッピーとオタマジャクシがたくさん泳いでおりました…。あれは一体…???

部活動は週に2回。体育部と吹奏楽部があり、私は体育部を受け持っています。(水球や、サッカー等、楽しく体を鍛えられるスポーツを行っています)大会などに出場するわけではないので、目標を身近に置かせ、モチベーションを高めるために試行錯誤の連続です。生徒はいい顔をして汗を流しています!



さて、最後の報告は…これを…。学校の近くは閑静な住宅街で公園などがあるのですが、なんと、健康器具があるのです!(たくさん種類があります)そして、黙々とトレーニングを続けるオジサマの横では木の



実を必死に採ろうとしていらっしゃる方々が…。右のおばさま、かなり腰が入ってらっしゃいますね。男の子のたたずまいもクールです。(次号は夏休み中は是非・牛肉麵:にょんろんめん について熱く語りしたいと思います。)